



池戸一成 後援会 会報

# しぶがき通信

秋号

発行日：令和2年10月

発行者：池戸一成後援会事務所  
各務原市蘇原柿沢町1-15  
TEL：371-2749  
HP：http://ikedo.info/

## 障がい者グループホームを訪問しました

### グループホームって・・・？

グループホームとは、介護を必要とする利用者さんが入居して共同生活をし、入浴・食事などの必要な日常生活上の援助を受けながら生活をする施設です。入居者は、生活をするための様々な相談をしたり、就労先などで仕事をしたりもします。今回訪問した『サーラほのぼの』さんは、障がい者のグループホームとデイサービス（日帰り介護サービス）の福祉サービス施設です。

### スタッフ会議に参加しました

グループホームとデイサービス両方の全体スタッフ会議に参加させていただきました。

スタッフの皆さんは、入居者やデイサービス利用者の健康管理も入念に行っています。体重や体温測定などはもちろん、毎日の顔を合わせて「いつもと違う」などの気づいたことを、スタッフ間で共有することを徹底していらっしゃいます。

スタッフ会議では、些細な質問や確認もなされ、利用者へのきめ細やかな配慮が行われていると感心しました。

例えば・・・

「〇〇さんの食事のときは、水でなくお茶でもいいのか。」

「摂取する水の量の管理するとき、お茶の量も入れるのか。また、具体的にどのように管理するのか」

「△△さんは体重が増え気味なので、散歩の声掛けをしましょう。」

「デイサービス利用者の体温測定で、何℃までの方はこのように対応し、それ以上の方はこのように対応することを再確認します。」

などをスタッフ全員で確認し、情報共有します。コロナ対策への徹底のための確認も行われていました。



### イベントもいろいろ

『サーラほのぼの』さんは、イベントを積極的に行っています。月見・流しそうめん・ゲーム大会・ミニ運動会・お菓子作りなど。スタッフからも、「このようなイベントをやりたい。」と、積極的な意見が出され、いい雰囲気職場と感じました。



### 会議の後も・・・

今回の訪問で、ほんの一部ではありますが、福祉現場の状況を知る勉強をさせていただきました。

会議の終了後、施設やスタッフの皆さんが住む地域の「お困りごと」などもお聞きしました。私が役に立てることに、すぐに対応いたしました。

今回訪問したグループホーム『サーラほのぼの』(前渡東町2-56)  
施設長の西村利佳さん  
「休日は欠かさず趣味のソフトテニスやってます。」と、  
大会にも出場するほどの熱中ぶりです。



がんばります！

## 独自の決算分析～12年間 池戸一成が取り組んできたこと



今回のレポートは、私が決算などを分析するときのやり方や考え方についての説明です。分析結果の解説などはありませんのでご了承ください。

### 独自の分析① ～何のために使われているの？！

私は市民の『税金』や『負担金』などが、「誰のために、いくら使われるか」を把握するために、決算書を独自の方法で集計し直しています。

市の決算書の項目『〇〇費』などを、もっと分かりやすく「何のための費用」という表現になるよう分類し直すなどの工夫を重ねてきました。

### 独自の分析②

#### ～ひとつの財布として考える

市の会計には、『一般会計』の他に、『国保会計』、『介護会計』、『後期高齢会計』、『下水道会計』、『水道会計』の5つの特別会計（※1）があります。

私が「税金の使われ方」を考えると、『水道会計』（税金が使われず、原則的に使用料だけによる独立採算で運営している会計）を除いた5つの会計を合わせて、ひとつの大きな財布として考えることにしています。

（※1）『特別会計』とは、特定の事業の状況を明確化するため、『一般会計』とは切り離して、独立した経理管理が行なわれる会計をいいます。

### 独自の分析③

#### ～繰入金の扱い方

毎年『一般会計』から『各特別会計』へお金が移動します。（これを一般会計の中で『操出金』、各特別会計のなかで『繰入金』といいます。）これは主に以下の二つの理由によるものだと考えます。

- ① 各会計には一般会計の財源（税金）で負担すべき事業内容があるため。（例えば以下のようなもの）
  - 国保会計の中の、低所得者の保険料を軽減するための事業。
  - 介護会計の中の、要介護状態にならないための予防に対する補助事業。
  - 下水道会計の中の、雨水排水路の整備の事業。

- ② 利用者の負担金（保険料や使用料など）だけでは、それぞれの特別会計の財源が足りないため。

各種会計の財布を、市全体の大きなひとつの財布に合わせて考えるとき、「会計間の操出金・繰入金」は大きな財布の中で移動しているだけのお金になるので、集計するときに省いて考えています。私独自の集計方法をしていますので、市が広報誌などで発表する数字と私の数字が異なります。

議員になった年から今日まで、毎年の予算・決算について分析をしてきました。細かく事業のチェックも行います。そして「木を見て森を見ず」でもいけません。これからも、市政の全体像や本質をしっかりと見ていきます。



税金などが「何に」「いくら」使われたかを表したグラフ（12年分）

